

第14回 10月6日(木) 13:00～14:30

## ウクライナの行方 戦争とジャーナリズム



**佐藤和孝氏**

ジャパンプレス代表 ジャーナリスト

**会場:津田塾大学小平キャンパス特別教室**

### <講師プロフィール>

1956年北海道生まれ。横浜育ち。1980年旧ソ連軍のアフガニスタン侵攻を取材。ほぼ毎年現地を訪れている。2001年9月11日、アフガニスタンで取材中にアメリカ同時多発テロが発生。現地に留まり、日本テレビの中継などを通して報道を続けた。他に、ボスニア、コソボなどの旧ユーゴスラビア紛争、フィリピン、チェチェン、アルジェリア、シリアなど20カ国以上の紛争地を取材。90年より報道ドキュメンタリーも制作。NHK日曜スペシャル、日本テレビのニュース番組などでドキュメンタリーの制作や現地からの中継を行なっている。2003年度ボーン・上田記念国際記者賞特別賞受賞(イラク戦争報道)。主な制作番組に「サラエボの冬～戦果の群像を報道する」「アフガニスタン果てしなき内戦」(NHKBS日曜スペシャル)、著書に『戦場でメシを食う』(新潮社)『戦場を歩いてきた』(ポプラ新書)。

### <担当スタッフより>

世界で不条理にも起こっている戦争や紛争を、遠い国の出来事として、自分とは関係のないものとして捉えていますか。今回、ご講演くださる佐藤さんは、これまで数々の紛争地を渡り歩いて来られました。また、現在、戦争が起こっているウクライナでも取材をされています。受講生の皆さんには、佐藤さんが伝えようとしてきた真実と向き合っていたいただきたいです。従来の戦争、紛争に関するイメージの「枠」から一歩外に出て、何が起きているのか、本質を見極めてください。これまで見聞きしてきたものだけが全てでないと理解することで、さらに事態を掘り下げて物事を理解しなければならないと実感する機会になると思います。これは、物事の理解だけではなく、自己理解の助けにもなるのではないのでしょうか。この講演が、受講生の皆さんにとって物事を掘り下げ、様々な面から立体的に捉え、判断するきっかけになったら嬉しいです。